

平成29年度  
地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)

# まちへイツポふみだそう!

3年後、私たちが過ごしたいまちこれからのまち

## 第2回

### 「場づくりのイツポ」

日時:平成29年7月8日(土)  
時間:13時30分~17時30分  
場所:名古屋都市センター14階  
特別会議室



「平成29年度地域の“まちづくりびと”養成講座(入門編)基礎コース」第2回目を、名古屋都市センター14階特別会議室で開催しました。

#### 【前回の振り返り&アイスブレイク】

冒頭に講師の三田さんから、第1回目がお休みだった人へのフォローと、受講者へのおさらいを兼ねて、講座内容の振り返りを行いました。

その後、「場づくりのイツポ」として、司会者のまさおさんにより、アイスブレイクを行いました。

今回のアイスブレイクは、体を動かす系として、空想のボール(エアボール)を、円になった受講生同士が、名前を呼び合いキャッチボールを楽しむ「エアキャッチ」というものです。

お互いに名前を呼びあうことで、緊張は一気にほぐれ盛り上がりました。



# ★ ワークショップ

## 【いろいろな座り方を体験しよう】

【1】会場のレイアウト(座り方)を4パターンに変え、それぞれどう感じるか?を体験しました。

まず講師が、それぞれのタイプについて説明し、受講生が発表する立ち位置や座った位置からの感想を発表しました。

①講義型:しっかり物事を伝えたい時や、あらたまった雰囲気を作る時

(感想)座っているときと違って、全員の表情が見える、場の状況は把握しやすい。

②円形型:皆さんの顔が見える。ざっくばらんで上下関係なくやりたい時

(感想)講義型に比べてどこを見て、話をするのかわかりづらいが、緊張はほぐれる。

円形は視線から外れる人も居て、皆さんが聞いているかどうか分からない。

③扇型:講義型よりもやわらかくて、みんなで話し合う時

(感想)顔が全体に見えるので発表する時は話しやすい。

講義型より和みができゆっくりと話せる感じ。

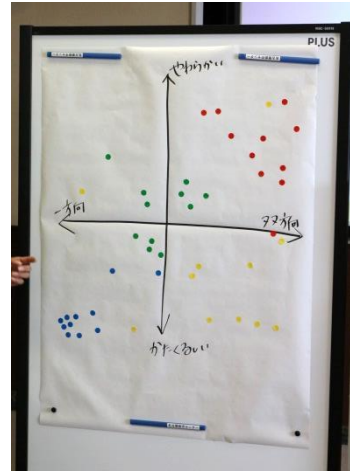
④島型:グループになり、意見交換したり、ワークショップを行う時

(感想)発表する時はどっちを向いて話してよいのか分からない、目が合わない

人もいる。自分のテーブルしか見えないので、全体が把握しづらい。

縦軸に「雰囲気」、横軸に「対話イメージ」としたグラフの上にレイアウトの型ごとに感想を、シールを使ってそれぞれ貼ってもらいました。

型ごとにシールが集まり、感想と同じ傾向が出たことを確認し、話し合いの内容に合わせて「場」の形状を変えると良いこと知ることが出来ました。



## 【自己紹介&グループ分け①】

【2】3つ折りにしたA4用紙に、自分の名前、子どもの頃や最近の夢、行ってみたい所・街、の3つを記入します。

その紙を持って、自己紹介を交えて同じ考えや同じ夢を持っていた等、自分との共通点がある人とグループを作り、島型形式のテーブルで4グループに分かれました。

講師からは、ブレインストーミング法(とにかくアイデアを沢山出す)とKJ法(出たアイデアに見出しをつけたり、関連性を考えて新たな発想を生み出す)の説明があり、グループワークで具体的な話し合いの方法を経験しました。

【3】グループワークでは、1回目としてはまず「20年後どんな街で過ごしたいですか」というテーマで話し合い、それぞれの意見、思いついたことを付箋紙に書き出し、グルーピングしました。

その後、2回目として同じグループのまま、先ほどとは違った視点で、グルーピングし直す話し合いを行いました。3回目として、これまで出た意見を集約しました。

最後に「20年後どんな街で過ごしたいか」の話し合いの内容を、約2分の持ち時間で発表しました。



【生きていればいいことがきっとある】



【ぴんぴんころり】





【気分転換】



【心地よい環境にする】

【グループ分け② 仲間を作ろう&役割を決めたグループワーク】

【4】新たな仲間作りとして、「私は〇〇なまちで過ごしたい」をテーマに、A4の用紙に記入を行い、似たことを書いている人、面白いと思う意見を持った人等で話し合い、4つのグループに分かれます。

話し合いの前に、知って良かった事として、聴く態度や話す姿勢について、確認をしました。またそのグループで進行役、タイムキーパー役、付箋紙入替・記入役、発表役などを決めてから話し合いを始めました。

役割分担を決めて話し合いをすることで、役割が明確になり、よりグループ意識が高まりました。講師からは、ワークショップにおけるマナーとルールの説明があり、参加者の確認になりました。その後、グループ単位で話し合いの結果を全員で共有し発表しました。



【愛・ジョージ】



【新たな仲間づくり】



【近所づきあいが濃い】



【緑あふれる】



最後に講座第2回の振り返りとして、紙に描かれたハート型の枠に「私が、これから大切にしたいこと」をそれぞれで記入し、受講生の今後について、自分自身と対話し、考えてもらう時間をつくりました。

その後、講師からは、自分も含め、まちづくり養成講座修了生の、まちづくり活動の実践や事例について、紹介があり、「受講生の皆さんも、今回の講座をきっかけとして、まちづくりの活動をしたり、仲間とつながるなど、やりたいと思ったことを、今後の活動につなげていってください。」という結びがあり、受講生も、講座スタッフも真剣に聴いていました。

事務局からの第3回目(まちあるき)の講座案内の後には、講師の呼びかけで、受講生参加型での会場の片付けを行うことができました。

これも、「場づくりのイッポ」の成果である。皆が参加することが大切との考えが表れたのではと思います。

今回の担当スタッフ(まさお、やっちゃん)

